

**がん治療を行なっている医師を対象とした「抗がん剤情報収集に関するアンケート」**  
80%の医師が、がんの最先端医療機関における処方例の情報提供を受けたい  
最先端医療機関における豊富な症例は、「処方の根拠になる」「患者の安心につながる」  
一般病院では、最新情報のキャッチアップの遅れに懸念も

株式会社インテージ(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:宮首 賢治)は、がん治療を行なっている医師を対象に「抗がん剤情報収集に関するアンケート」調査を実施しました。本調査は、2013年2月6日~2月8日、当社のグループ会社である株式会社アンテリオ(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:仁司 与志矢)が保有するドクターウェブパネルモニターのうち、がん患者を10名以上診療している全国のがん拠点病院および一般病院の勤務医95名を対象としてインターネット調査を行ない、結果をまとめました。

## ■調査結果のまとめ

がん患者を診療している医師を対象に「抗がん剤情報収集に関するアンケート」を行なった結果、次のことがわかりました。

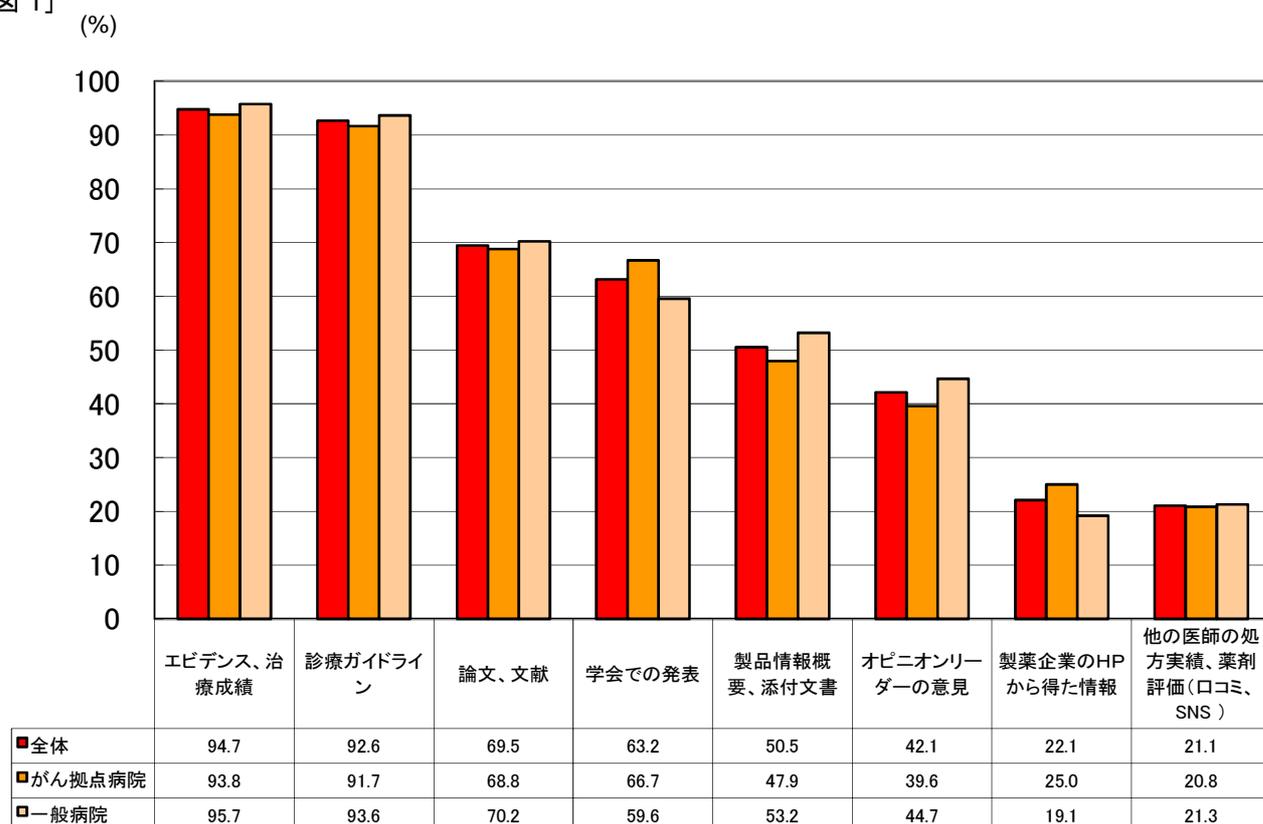
- 90%以上の医師が、処方薬剤を検討する際に「エビデンス・治療成績」「診療ガイドライン」を参考にしている。一方、「診療ガイドライン通りの処方が最適なのか迷うケースがある」「エビデンスの少ない新薬は情報不足のため、なかなか新しい薬剤の処方ができない」といった悩みを抱えている。
- 今後参考にしたい情報は、80%の医師が「最先端の医療機関(国立がんセンター、がん研有明病院など)での処方例の情報提供を受けたい」という回答。その理由には、「具体例を見て自分の症例にアレンジできるかもしれないから」「処方の根拠になるから」「患者の安心につながる」「市中病院勤務ではトレンドに遅れがちなので」といった意見があった。

## 調査結果

### 1. 抗がん剤の処方薬剤を検討する際に参考にしてしている情報

抗がん剤の処方薬剤を検討する際、医師自身が参考にしてしている情報の1位は「エビデンス、治療成績」で94.7%。2位は「診療ガイドライン」92.6%、3位「論文、文献」69.5%であった。（複数回答）

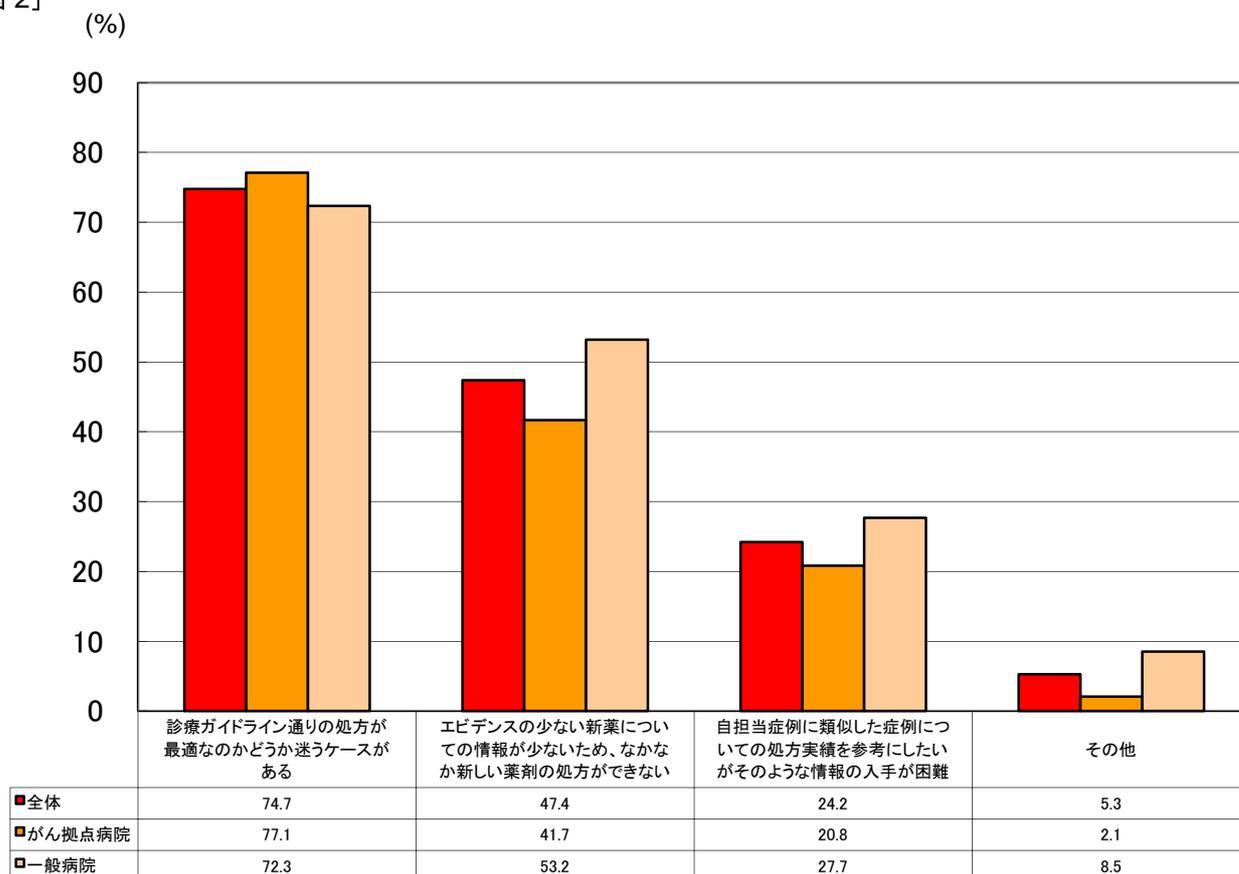
[図 1]



## 2. 抗がん剤の処方薬剤を検討する際に困っていること

抗がん剤の処方薬剤を検討する際に困っていることの1位は「診療ガイドライン通りの処方が最適なのかどうか迷うケースがある」で74.7%となった。2位は「エビデンスの少ない新薬についての情報が少ないため、なかなか新しい薬剤の処方できない」で全体では47.4%、一般病院勤務医の割合は全体より高く53.2%であった。(複数回答)

[図 2]



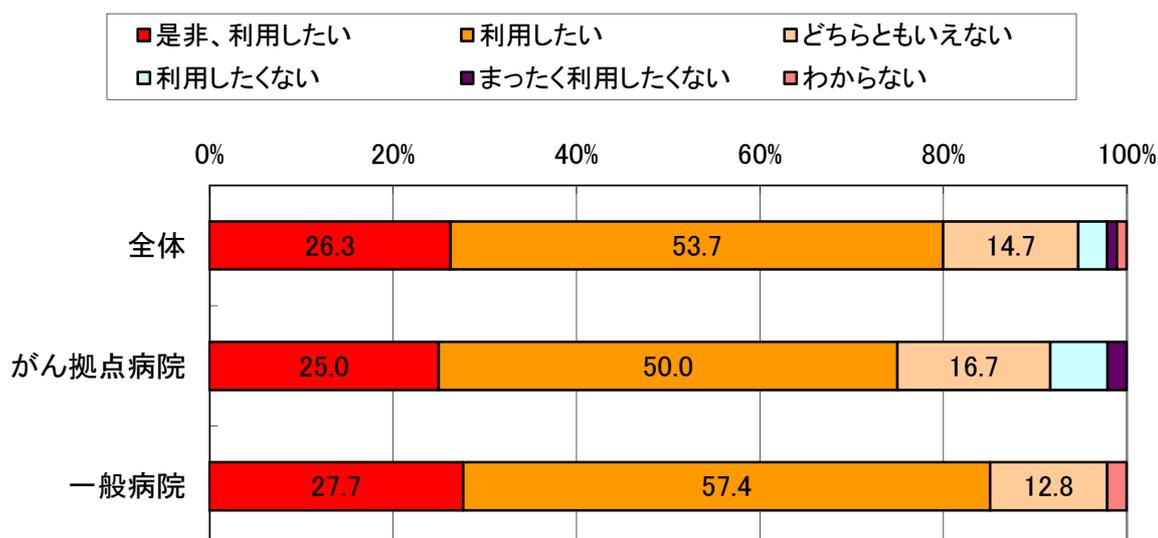
### 3. 「最先端の医療機関での処方例」の利用意向

「最先端の医療機関(国立がんセンター、がん研有明病院など)での処方例」の情報提供が受けられるとしたら利用したいか、の利用意向では、全体の80.0%が「是非、利用したい」「利用したい」と回答。

セグメント別でみると、がん拠点病院の勤務医は75.0%、一般病院勤務医では85.1%が利用意向がある。

(単数回答)

[図 3]



### 4. 『最先端の医療機関の処方例を利用したい』理由 (自由回答より抜粋)

#### 【がん拠点病院勤務医】

- 先進施設の投与法は知っておきたい。
- 判断に悩む例、レスキューの方法など参考になりそうなので。
- 処方への根拠となるから。
- 本邦での臨床結果として参考になる。
- 新薬を出来るだけ早く、必要な患者に処方したいため。
- 具体例を見て自分の症例にアレンジできるかもしれないから。

#### 【一般病院勤務医】

- 市中病院勤務ではトレンドに遅れがちなので。
- 点滴基材の種類・用量、制吐剤投与のタイミングなど含め、実際の処方例の具体的な点を知りたい。
- 最新の治療方針が知りたいから。
- 日本人の情報が増える方が、安全に治療が行えると考えられるから。
- 患者の安心につながるから。
- 他施設での経験が参考になると思うから。

## 調査概要

調査方法: インターネット調査 (株式会社アンテリオが実施する簡易版アドホック調査“TenQuick”利用)

調査地域: 全国

調査対象者: ドクターウェブパネルモニターのうち

がん患者を 10 名以上診療しているがん拠点病院および一般病院の勤務医 95 名  
(一般病院とは、がん拠点病院以外の 200 床以上保有の病院)

サンプル構成: セグメント別・がん患者数別回収数

	TOTAL	10～19人	20～29人	30～49人	50人以上
全体	95	52	26	7	10
がん拠点病院勤務医	48	24	13	3	8
一般病院勤務医	47	28	13	4	2

調査期間: 2013 年 2 月 6 日(水)～2013 年 2 月 8 日(金)

調査実施機関: 株式会社インテージ

【株式会社インテージ】 <http://www.intage.co.jp/>

株式会社インテージ(市場名: 東証 1 部・4326、本社: 東京都千代田区、設立年月日: 1960 年 3 月 2 日、代表取締役社長: 宮首 賢治)は、インテージグループ各社とともに、リサーチノウハウ、データ解析力、システム化技術と、これらに基づく情報評価力をコア・コンピタンスとして、経営およびマーケティング上の意思決定に役立つ情報(Intelligence)を提供。国内マーケティングリサーチ最大手として、お客様のビジネスの成功に貢献してまいります。

【株式会社アンテリオ】 <http://www.anterio.co.jp/>

株式会社アンテリオ(本社: 東京都千代田区神田練堀町 3 番地、設立年月日: 1994 年 12 月 15 日、代表取締役社長: 仁司 与志矢)は、調査、企画、分析における高度なスキルと医療分野における豊富な経験・知識をコア・コンピタンスとし、ヘルスケア領域のマーケティングリサーチに精通したトップカンパニー。インテージグループの一員として、顧客ニーズの変化に対応した自主企画調査による商品開発を行なっています。

2010 年 10 月に、ティー・エム マーケティング株式会社より社名を変更しました。

ドクターウェブパネルとは

アンテリオのさまざまな手法の調査にご協力いただいている全国約 65,400 人の医師モニターのうち、インターネット調査に協力を得ている約 38,200 人の医師モニターパネル。

【この件に関するお問い合わせ先】

■株式会社インテージ 経営管理部 広報 IR グループ

担当: 小関(おせき) / 佐藤(さとう)

TEL: 03-5294-6000 FAX: 03-5294-8318

弊社サイト「お問い合わせフォーム」<http://www.intage.co.jp/contact/>

※本ニュースリリースは、厚生労働記者会、厚生日比谷クラブ、重工業研究会、本町記者会へ配布しております。